

函館北ロータリークラブ会報



インスピレーションになろう

2018~19年度 国際ロータリー テーマ
インスピレーションになろう

2018~19年度 国際ロータリー会長
バリー・ラシン

成田 豊 会長 テーマ “融和と柔軟を”

★会長 成田 豊 ★幹事 弗田和則

《第2633回例会》第27号 4月17日(水)

本日のプログラム

卓話「消費税率について」

函館税務署 副署長 河原 幸生 氏



3月30日 移動例会
インターシティミーティング・懇親会

2018~2019 < 第 2632 回例会 >

第 26 号 3月30日の記録

(4月3日(水)の移動です)

◎2019年3月30日 インターシティミーティング
於 ホテル法華クラブ函館 4:30 点鐘

司会 後藤 広隆 氏 (函館五稜郭RC)

斉唱 君が代、奉仕の理想

テーマ「原点を振り返り広げようロータリーの輪を」

コーディネーター 第10グループガバナー補佐

(長万部RC) 赤塚 章

コーディネーター 第11グループガバナー補佐

(函館五稜郭RC) 田嶋 英人

パネラー (各クラブ会長)

小泉 康祐 副会長 (函館RC)

名倉 豊 (森RC)

村松 和弘 (長万部RC)

菅原 昭 (七飯RC)

木戸浦静男 (函館亀田RC)

中原 勝司 (函館セントラルRC)

佐藤 美子 (函館東RC)

隅田 秀男 (江差RC)

成田 豊 (函館北RC)

濱中 公也 (函館五稜郭RC)

佐藤 竜也 (北斗RC)

スピーチに係るテーマについて

小例題

- 1、クラブの活性化について
新会員の入会と若い世代の会員を迎えるには
- 2、クラブの持続とその問題や課題
年齢構成と世代間交流について
- 3、ロータリーを知り理解を深める為に今必要なこと
- 4、クラブの多様性について
例会数や会員資格等について
- 5、最近のロータリーについて思うこと
- 6、五大奉仕と私
五大奉仕全般或いは個々の奉仕と私
- 7、ガラパゴス化は悪か？





余興 「ザ・ペンタリオン」(函館五稜郭RC)

今年度のIMは「原点を振り返り広げようロータリーの輪を」に沿って、事前に定めた7つのテーマについて、各クラブ会長が発表しました。

どのクラブも会員増強、とくに若年会員の増強に苦勞している様子でした。成田会長からは、当クラブでは40代の会員が増えてきていることや女性会員の入会についての検討、さらには創立55年の歴史あるクラブであり、次の時代へむけて奉仕活動を引続き継続していく旨の報告がありました。

また、ご夫人がクラブ行事に参加することで、家族のロータリーへの理解が深まったというクラブがありました。函館北RCは「家族と共に楽しむロータリー」の考え方のもと、それを普通に実践していることを誇らしく感じたのは私だけではないと思います。どのクラブの会員も、自分のクラブが一番だと思っているでしょうから、それぞれのクラブの特徴は何か、さらには自分たちのクラブの存在意義は何なのか、今一度問い直してみるこそが、今回のIMのテーマおよびロータリー精神の理解と実践に繋がるものと思います。

続いて開かれた懇親会では、クジ引きで各自の席(テーブル)が決められました。私のテーブルは面識のない方が多く、当初は居心地の悪さを感じていましたが、宴が進むにつれて挨拶をかわし、周りのテーブルでも同じような光景が見られはじめ、これこそがIMの大きな意義だと感じました。ロータリーという共通の枠組みに身を置いていなければ、会話をするなど決してないだろうという方と一緒にテーブルに座ることができる、これはロータリアンに与えられる特権であり、40代以下の若い世代がロータリーに入会するメリットの一つとしてPRすることで会員増強に繋がるのではないのでしょうか。

恒例のロータリーソング「手に手つないで」で懇親会は盛会裏に終了しました。学びの機会と懇親の場を設けてくださった、ホストクラブの函館五稜郭RC・長万部RCの皆様へ感謝申し上げます。(文責：渡部)

(会報担当者：増田 定雄 委員)

やさしい気持ちは**森**から育ちます。

子供たちの未来のために**森**を守りましょう



函館北ロータリークラブ



環境保全と土に生きる会



森 秀樹

(広告掲載：森 秀樹 会員)

◎ 3月13日出席報告 (増山 正 委員長)

会員	19名	出席率対象会員	18名
		出席規定免除会員(a)	1名
		出席規定免除会員(b)	0名
当日出席	15名	当日欠席	3名
他クラブ出席	0名	出席合計	15名
出席率		83.33%	

次回のプログラム

2019年4月24日(水)

クラブアッセンブリー 地区研修・協議会報告

テレフォンサービス(例会移動案内) 電話 26-3170番